

2009-2010年の流行における
わが国の妊産婦のインフルエンザH1N1
2009感染状況とその対策に関する調査

日本産婦人科医会母子保健部、日本産科婦人科学会周産期委員会共同調査

日本産婦人科医会
日本医科大学
中井章人

社団法人日本産婦人科医会
第36回記者懇談会(2010.9.8)

調査期間:2010年7月-8月
調査対象:2009年5月-2010年3月の入院症例
全国分娩取り扱い施設:2,611施設
有効回答数: 2,082施設
有効回答率: 79.7%
総分娩数: 758,244(11ヶ月間)

入院患者総数(分娩後を除く)	234例
重症例*	23例
死亡例	0例

* ICU入院、肺炎、呼吸管理を要した症例

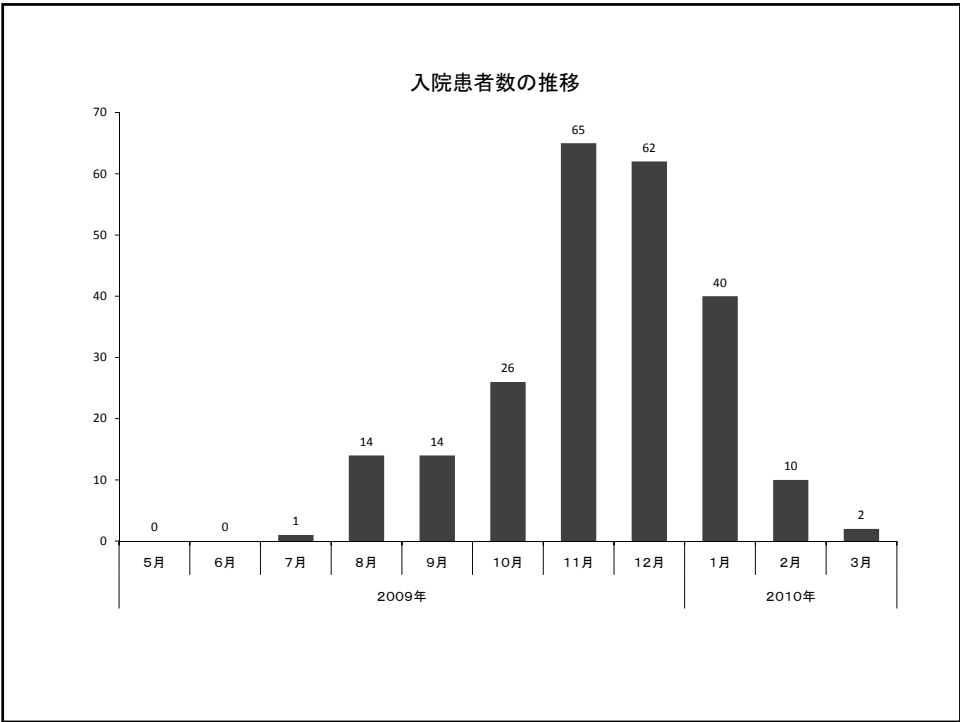
都道府県ごとの妊娠中の入院患者数																	
	施設数 有効 (%) 分娩数 入院数 発生率 重症例* 死亡				施設数 有効 (%) 分娩数 入院数 発生率 重症例* 死亡												
	回答	回答	総数 (%)	総数 (%)	回答	回答	総数 (%)	総数 (%)	回答	回答	総数 (%)	総数 (%)					
北海道	107	72	67.3	24717	2	0.01	0	0	滋賀	36	29	80.6	8786	1	0.01	0	
青森	26	18	69.2	5125	3	0.06	1	0	京都	55	41	74.5	11657	7	0.06	1	0
岩手	43	33	76.7	6923	0	0.00	0	0	大阪	155	124	80.0	51199	13	0.03	4	0
宮城	45	39	86.7	13986	1	0.01	0	0	兵庫	106	86	81.1	32044	22	0.07	3	0
秋田	28	21	75.0	5143	2	0.04	0	0	奈良	27	21	77.8	7819	5	0.06	2	0
山形	34	31	91.2	7853	4	0.05	0	0	和歌山	19	16	84.2	5159	1	0.02	0	0
福島	49	36	73.5	12324	4	0.03	1	0	鳥取	17	14	82.4	4685	0	0.00	0	0
茨城	42	34	81.0	13627	3	0.02	1	0	島根	22	17	77.3	4179	3	0.07	0	0
栃木	46	40	87.0	14444	7	0.05	0	0	岡山	46	37	80.4	11823	0	0.00	0	0
群馬	44	40	90.9	15098	1	0.01	0	0	広島	58	48	82.8	17363	8	0.05	1	0
埼玉	108	76	70.4	37001	6	0.02	0	0	山口	38	36	94.7	11143	2	0.02	0	0
千葉	112	94	83.9	37970	2	0.01	0	0	徳島	20	14	70.0	3750	2	0.05	1	0
東京	183	138	75.4	62909	34	0.05	2	0	香川	21	20	95.2	5311	1	0.02	0	0
神奈川	122	95	77.9	47496	7	0.01	0	0	愛媛	40	32	80.0	9905	3	0.03	1	0
山梨	16	11	68.8	3487	0	0.00	0	0	高知	22	16	72.7	3665	0	0.00	0	0
長野	46	42	91.3	15726	2	0.01	0	0	福岡	122	96	78.7	33558	6	0.02	3	0
静岡	82	62	75.6	21170	6	0.03	0	0	佐賀	30	24	80.0	11696	3	0.03	0	0
新潟	51	45	88.2	16314	2	0.01	0	0	長崎	56	45	80.4	9657	2	0.02	0	0
富山	25	21	84.0	7316	1	0.01	0	0	熊本	49	36	73.5	13356	10	0.07	0	0
石川	33	32	97.0	8239	5	0.06	1	0	大分	33	28	84.8	8253	6	0.07	1	0
福井	21	19	90.5	6292	2	0.03	0	0	宮崎	41	35	85.4	8502	3	0.04	0	0
岐阜	52	45	86.5	15290	2	0.01	0	0	鹿児島	49	41	83.7	12119	9	0.07	0	0
愛知	156	122	78.2	50981	20	0.04	0	0	沖縄	36	26	72.2	10627	8	0.08	0	0
三重	42	34	81.0	12557	3	0.02	0	0	合計	2611	2082	79.7	758244	234	0.03	23	0

* ICU入院、肺炎、呼吸管理を要した症例

42/47都道府県

月ごとの発生状況							
		分娩数	入院数	重症例*	母体死亡		
2009年	5月	67,238	0	0	0		
	6月	66,870	0	0	0		
	7月	71,787	1 (0.4)	0	0		
	8月	70,279	14 (6)	2 (8.7)	0		
	9月	70,551	14 (6)	1 (4.3)	0		
	10月	71,466	26 (11.1)	3 (13)	0		
	11月	71,080	65 (27.8)	7 (30.4)	0		
	12月	70,366	62 (26.5)	2 (8.7)	0		
	2010年	1月	69,324	40 (17.1)	6 (26.1)	0	
		2月	62,232	10 (4.4)	2 (8.7)	0	
		3月	67,051	2 (1)	0	0	
	合計		758,244	234	23	0	

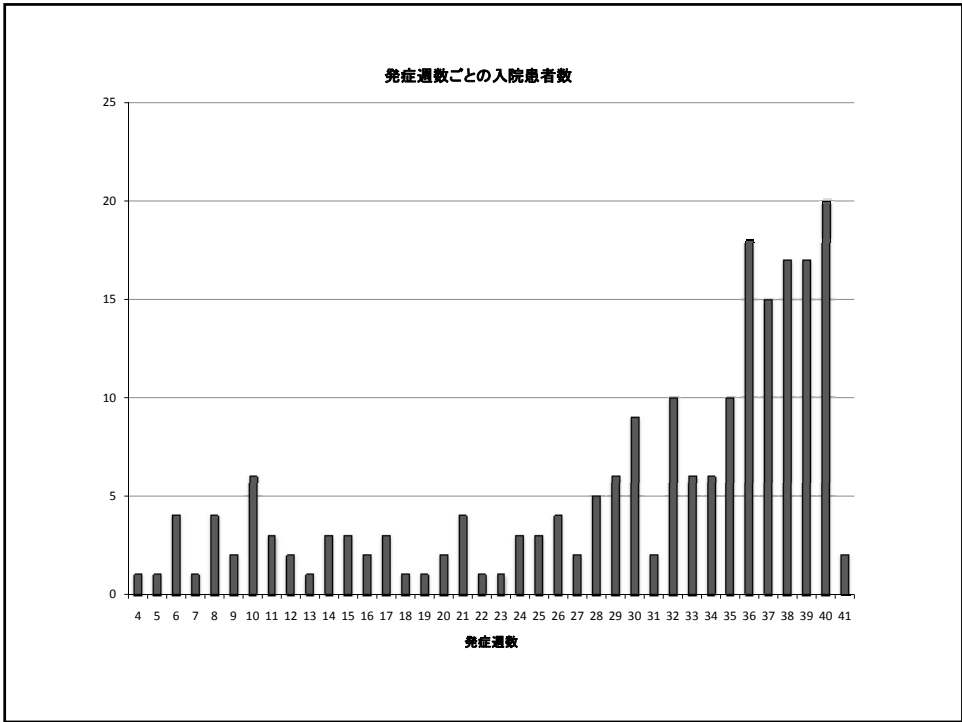
* ICU入院、肺炎、呼吸管理を要した症例 (10月から1月で82.5%)



施設ごとの入院患者数

	入院患者数	重症例*	母体死亡
総合周産期母子医療センター	22	3	0
地域周産期母子医療センター	29	6	0
病院(NICU併設)	17	0	0
病院(NICUなし)	101	9	0
診療所	65	5	0
合計	234	23	0

* ICU入院、肺炎、呼吸管理を要した症例



発症時の妊娠週数

	入院患者数	重症例*	母体死亡
妊娠14週未満	25 (12.3%)	2 (10.5%)	0
妊娠14-28週	38 (18.7%)	4 (21.1%)	0
妊娠29週以降	140 (69%)	13 (68.4%)	0
不明	31	4	0
合計	234	23	0

* ICU入院、肺炎、呼吸管理を要した症例

平均発症週数 29.9週

母体年齢・経産数

	日本*	入院患者数	非重症例	重症例
総数	1,091,156	181	164	17
年齢				
< 20	15,465 (1.4)	6 (3.3)	6 (3.7)	0
20 -29	442,444 (40.5)	67 (37)	63 (38.4)	4 (23.5)
30 -39	605,099 (55.5)	101 (55.8)	88 (53.7)	13 (76.5) **
> 40	28,140 (2.6)	7 (3.9)	7 (4.3)	0
平均		30.2 (5.6)	30.1 (5.6)	30.3 (4.8)
経産数				
初産	516,097 (47.3)	60 (33.1)	56 (34.2)	4 (23.5)
経産	575,059 (52.7)	121 (66.9)	108 (65.9)	13 (76.5) **
不明		53	47	6

* 2008年(厚生労働省)

** p < 0.05

(30歳以上で経産婦に重症例が多い)

治療状況

	入院患者数 n = 137	重症例* n = 12	RR	95% CI
抗ウイルス薬				
Oseltamivir	122 (89.1)	11 (9)	1.3	0.2 - 26.3
Zanamivir	8 (5.8)	0	NA	
No treatment	7 (5.1)	1 (14.3)	1	Reference
発症から投薬までの日数				
≤ 2	121 (88.3)	8 (6.6)	1	Reference
2 <	9 (6.6)	3 (33.3)	7.1	1.3 - 32.7
No treatment	7 (5.1)	1 (14.3)	2.4	0.1 - 32.7
ワクチン				
有り	15 (11)	1 (6.7)	0.7	0.1 - 4.2
無し	122 (89)	11 (9)	1	Reference
不明	97	11		

* ICU入院、肺炎、呼吸管理を要した症例

RR:相対危険率

分娩週数

	日本(2008年厚生労働省)	入院患者数	非重症例	重症例
総数	1,091,156	181	164	17
流産	不明	3 / 181 (1.7)	2 / 164 (1.2)	1 (5.9)
早産				
22-31週	7,876 / 1,091,156 (0.7)	5 / 178 (2.8)*	5 / 162 (3.1)*	0 / 16 (0)
32-36週	54,932 / 1,091,156 (5)	21 / 178 (11.8)*	16 / 162 (9.8)*	5 / 16 (31.3)*
正期産	1,028,348 / 1,091,156 (94.2)	152 / 178 (85.4)	141 / 162 (86)	11 / 16 (68.8)
不明		53	47	6

* p < 0.05

早産率	14. 6%(2. 5倍)
非重症例	12. 9%(2. 3倍)
重症例	31. 3%(5. 5倍)

妊婦における新型インフルエンザの特徴

- 11ヶ月間で234例の入院患者を認め、うち23例は重症であったが、死亡例は認めなかった。
- 総分娩数における入院患者発生率は0.03%(約3000人に1人が入院)。
- 入院患者は西日本で74%を占めていた。
- 発症は10月から1月までの4ヶ月間に集中していた(82.5%)。
- 入院患者の約70%は妊娠後期(29週以降)に発症。
- 早産率が約2.5倍になる。
- 妊婦入院患者の95%が抗ウイルス薬を使用していた(88%が発症2日以内)。
- 重症化のリスク因子は母体年齢30歳以上の経産婦、抗ウイルス薬開始の遅れ。